

地域のニュース

淡路景観園芸学校

「園芸療法課程」が開講

公立機関で初、17人受講

花作りや土いじりを通して心身の健康を促す園芸療法の指導者を養成する「園芸療法課程」が2日、北淡町の県立淡路景観園芸学校（熊谷洋一校

同校は今年5月、「アメリカ園芸療法協会（AHTA）」と交流協定を締結。前半はAHTAの園芸療法士養成カリキュラムに準じた園芸療法や園芸、医療・福祉などの

学科を学習。後半は医療・福祉、造園・園芸関係の仕事に携わった経験があり、3人は地域の高齢化に対応するため園芸療法を導入しよう、三重県から派遣された。

開講式で熊谷校長は、「震災の後遺症や人間関係によるPTSD（心的外傷後ストレス障害）の治療、回復に効果のある園芸療法には大きな期待がかかっている」と激励。

受講生の三重県職員、西村美哉さん（31）が「園芸というものをいかに利用すれば療法になるか、というところから学び、園芸療法の普及啓発の一端を担いたい」と心えた。

受講生は、1年間の課程修了後、さらに病院や老人ホームなどで計2000時間の実務を積み、AHTAの「正園芸療法士」の認定登録を申請出来る。

花作りや土いじりでPTSDにも効果

修了者には県認定の資格

長）に開講され、17人が受講した。国内の公立機関では初の本格的な課程で、1年間の課程修了者には県認定の園芸療法士の資格が与えられる。



開講式で受講生を代表して決意を述べる西村美哉さん（手前）＝北淡町の県立淡路景観園芸学校で

平成14年9月3日(火)
毎日新聞(朝・夕)
頁 地域版

【登口修】